

生活二題： 明るく元気なあいさつをしよう!! 時間を守り、機敏な行動をしよう!!

アウトメディアで生まれる会話

校長 新門 健一

鹿児島県PTA連合会の平成22年度「たのしい子育てコンクール」三行詩部門の入賞作品に次のようなものがあります。

【晩ご飯の時に話す 今日の出来事は もう一つのわが家の 一品料理】
これは中学二年生の子が書いたものです。

先日、学校保健委員会で養護教諭から「アウトメディアにチャレンジしよう」という提案がありました。児童・生徒のアンケートの実態からアウトメディア(テレビ・ビデオを見ない、ゲームをしない)への協力を保護者の皆様をお願いしたわけです。

取り組む週間はまだ先でしたが、わが家では早速その夜から一番簡単な「かめさんコース」(食事中テレビを消す)に取り組みました。それまであったテレビの音が無くなったためか、最初変な雰囲気でしたが、次第にいろいろな話が出てくるようになりました。一つの話からいろいろと広がってきて、分かっているようで分かっていたいなかった子どもたちの様子などを知ることができ、先ほどの三行詩の状況と重なるようでした。現在は、「かめさんコース」+次の段階の「ヒヨコさんコース」(テレビ・ビデオ・ゲームの時間は合わせて2時間以内)も達成しているようです。それぞれの家庭で一週間取り組んだ結果がまもなく出てきます。「食育」「一家庭一家訓」等の来年度の取り組みに生かしていければと考えています。

アウトメディアで、生まれた時間の活用法はそれぞれの家庭で工夫(家族全員でお茶を飲みながらのおしゃべり、時間を決めての読書、親子でのスポーツ等)し、有効に活用してもらえればと思います。最後に中学三年生の子が書いた詩を紹介しします。

我が家の食卓はとてにぎやか
僕がしゃべり出すと妹も負けじとしゃべり出す
「うるさいなあ」といいながら
笑顔で聞いている父と母



校庭のスイセンの花からはいい香りがしてきます。



立志式

22日(火)に、立志式を実施しました。今年度は、浜本溪之進君、新門佳奈さんの2人が立志を迎えました。

当日は、保護者の方々や地区の方々にも多数出席していただき、お祝いや激励の言葉をいただきました。浜本溪之進君は、将来の夢について「ジャンベか大工に関わる生活をしていきたい。」「そのために、今は勉強やジャンベをがんばり、第一志望の高校に受かるようにしたい。」ということを発表しました。

また、新門佳奈さんは「小学校の時に受け持ってもらった担任の先生のような教師になる夢を達成するために、きびきびと行動したり、人前でうまく話したりすることができるようにこれまで以上に勉強をしっかりしたい。」ということについて、発表しました。

立志式後は、みしまジャンベスクール校長の徳田健一郎先生を講師に迎え、「ふるさとが教えてくれたアフリカの大地」という演題にて記念講演を実施しました。

徳田先生は、「ふるさとを誇りに思い、大事にすることの大切さ」、「ふるさとへの感謝の気持ちを大切にすること」などについて、これまでの御自身の経験をもとに分かりやすく御講演くださいました。また、「ふるさとを大切にし、高い目標を持って努力してほしい」と立志を迎えた子どもたちを励ましてくださいました。

2人にとって、今後の自分の進路や将来の夢について深く考える貴重な機会となりました。ご多用中、御出席いただきました保護者や地域の皆様方、本当にありがとうございました。



なわとび大会

9日(水)授業参観の日の5校時に、全校児童生徒そろっての「なわとび大会」がありました。この日のために、子どもたちは、体育の時間や昼休み、朝や放課後等に練習しました。家で練習していた子もいるようです。そのせいか、昨年よりも記録を伸ばした子が多かったようです。今後も、縄跳びに限らず、積極的に体力づくりに励んでほしいと思います。



子ども会「もちつき大会」

6日(日)に、毎年恒例の子ども会の「もちつき大会」がありました。子どもたちは、おいしいおもちができるように、力をいっぱい込めて「うす」の中の「もち」をつきました。最近では、このようにもちをつくことも少なくなりましたが、自分たちでついたものは格別においしいようでした。



救難訓練見学

いただいた航空写真です。

15日(火)に自衛隊鹿屋航空基地所属のヘリコプターによる救難訓練があり、見学しました。まず初めに、自衛隊の方から、訓練の様子について説明していただきました。人の命を救うために、自分たちも安全に十分気をつけながら、いざという時のために訓練をしているということについて話を聞きました。そして、命を救うための救命胴衣などについても説明を受けたり、実際につけさせてもらったりしました。

人が10人乗れるという大きなヘリコプターから海にいる人をつり上げて救助する様子は迫力満点でしたが、実際にはこのような方々が出動しなければならぬような事故が起こらないように願うことでした。

見学の最後には、以前の訓練で来られた際に学校の上空を撮影された航空写真を贈呈いただきました。昔の航空写真と比べてみると、学校や周りの様子の変化がよく分かりました。郷土をよく知るための学習などに役立てていきたいと思っています。

